

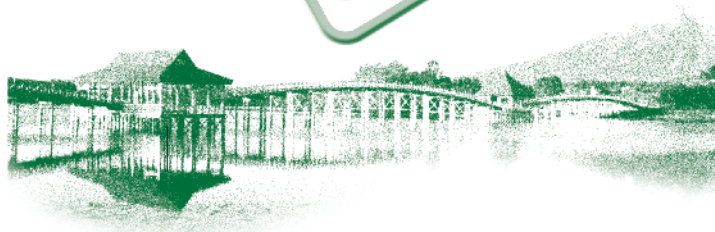
鶴の舞橋のオリジナル切手

鶴の舞橋を題材にしたオリジナルフレーム切手が完成し、4月7日（金）から販売されています。5日（水）には、製作元である県西部地区郵便局長会の岡部浩幸統括局長らが相川町長を訪ね、完成品をお披露目しました。

切手の製作は、「町の観光を広くPRしたい」と、鶴田郵便局が当町に提案。切手の素材には昨年、鶴田高校が主催した「鶴の舞橋」写真コンテストの入賞作品が採用されています。相川町長は「切手を使って鶴の舞橋を全国に情報発信し、より観光客が増えてほしい」と期待を込めていました。価格は82円切手10枚組で1500円。道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」と陸奥鶴田駅コミュニティプラザ、富士見湖パークの売店で販売しています。



△相川町長に切手の説明をする岡部総括局長（中央）



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

パレードで火災予防を呼び掛け

4月10日（月）から16日（日）までの春の火災予防運動週間に先がけ、鶴田町消防団（下山正彦団長）では同月9日（日）、火災予防周知のための広報パレードを行いました。

パレードでは、町内の各地区を査察者である相川町長と下山団長らが消防車両8台によりサイレンを鳴らしながら巡回しました。各地区の屯所では分団員が整列して待機し、団員の服装や姿勢、機械器具の整備状況の点検が行われました。

査察した相川町長は「日頃から町民の生命財産を守ってくれていることに感謝しています。この運動を機会に町民の皆さまへ火の取扱いに注意するように呼び掛けてほしい」と話していました。



△分団員に火災予防の呼び掛けをお願いする相川町長（右）

“けが” なし交通安全を呼び掛け

町内小学校の初登校日となった4月10日(月)、春の全国交通安全運動に併せ、早朝の街頭啓発が行われ、鶴田小学校の校門付近では、ツル多はげます会(須郷貞次郎会長)の会員が登校する児童に「けがなし」交通安全を呼び掛けました。

会員が児童に「頭を触るとけがないよ(毛が無いよ)」と話しかけると、ご利益にあずかるように喜んで触る一方で、苦笑いをする児童もいるなど反応はさまざま。頭を触った児童は「ツルツルして気持ちいい」「交通事故に遭わない気がする」と話していました。須郷会長は「町の宝である子どもたちが今年も交通事故に遭わないように安全に過ごしてほしいです」と願っていました。



△けがをしないようにはげます会会員の頭を触る児童



△ペットボトルを加工してシャボン玉を飛ばす子どもたち

環境の大切さに理解を深める

4月15日(土)、地球環境について理解を深めるイベント「アースデイ2017」が町国際交流会館で開催され、町の子どもたち約30人がごみとなる物を使ったゲームを通してリサイクルの大切さを学びました。

イベントでは国際交流員のアンナ・クマシロさんとメアリー・ノートンさんがアースデイの歴史や意義を説明した後、参加した子供たちが新聞紙やペットボトル、ダンボールを使った輪投げやボウリング、シャボン玉飛ばしなどを楽しみました。

鶴田小学校4年の増田結愛さんは「ゲームが面白かったです。地球に優しくするために物を大切にしていきたいです」と笑顔で話していました。

70周年を記念する芸能発表会

鶴田町職工業組合(三浦初男組合長)では創立70周年を記念して4月16日(日)、町農村環境改善センター「豊明館」で町内のお年寄りを招いて芸能発表会を開催しました。

同組合は昭和22年に町内有志により設立され、現在では建設や板金、塗装業などを営む64の個人経営者や企業が加入しています。この日は来賓やお年寄りなど約200人が参加し、「御所川原囃子心組」による囃子の演奏や「西中野組獅子舞保存会」による獅子舞などを楽しみました。

三浦組合長は「70周年を機会にこれからも組合員一同、力を合わせて一生懸命頑張っていきたい」と抱負を述べていました。



△ステージで囃子の演奏を披露する御所川原囃子心組の皆さん